

光明小学校から進学する中学校について

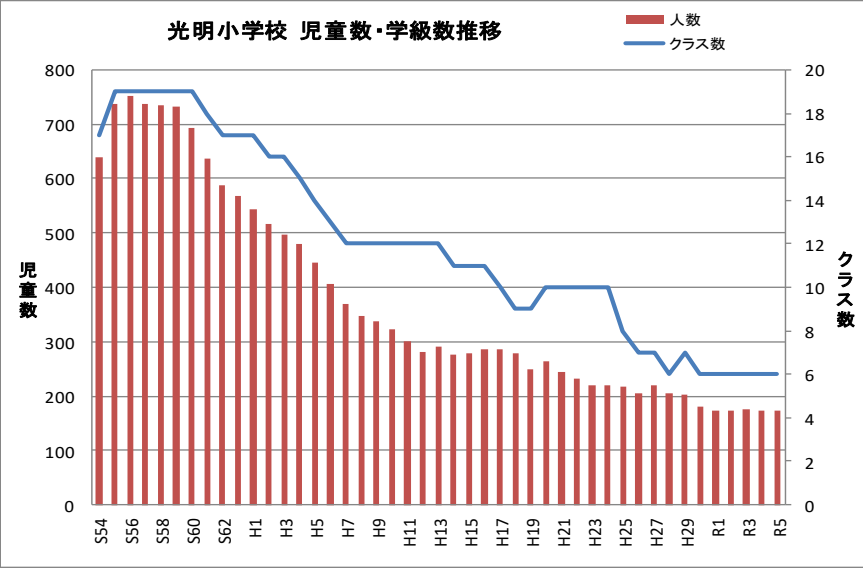
1 経過

光明小学校は、多くの児童が宝塚第一中学校に進学する一方、福井町の児童のみが高司中学校へ進学するという課題がありました。こうした中、宝塚第一中学校に進学する児童の保護者から、通学距離の遠い宝塚第一中学校よりも、近くの高司中学校に進学したいとの意見がPTAに寄せられ、PTA主体で昨年の11月頃にアンケート調査が実施されました。このアンケート調査において、高司中学校への進学を希望する意見もあったことを受け、PTAから教育委員会に相談がありました。

教育委員会においても、全市的に小中一貫教育の導入を見据えた小学校と中学校の通学区域の整合の取組を推進していることから、光明小学校から進学する中学校について保護者・地域から意見を聞き、中学校区の在り方について検討することになりました。

2 光明小学校の現状について

(1) 児童数・学級数の推移



(2) 令和6年度在籍児童数

学年	男	女	合計
1年	23	14	37
2年	14	14	28
3年	13	14	27
4年	20	14	34
5年	16	12	28
6年	11	11	22
合計	97	79	176

※ 特別支援学級の児童含む。

※ 昭和54年(1979年)良元・末成小学校から分離開校

(3) 住民基本台帳による人口

住所	就学前							小学校							中学校				合計
								1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	小計	1年生	2年生	3年生	小計	
	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	小計	6歳児	7歳児	8歳児	9歳児	10歳児	11歳児		12歳児	13歳児	14歳児		
福井町	6	7	11	16	11	8	59	18	15	6	14	13	10	76	9	7	13	29	164
小林3丁目	0	2	3	0	0	1	6	3	1	1	1	0	1	7	1	1	1	3	16
小林4丁目	4	1	4	2	3	4	18	3	4	5	6	0	3	21	1	5	5	11	50
光明町	18	14	15	16	15	10	88	11	13	14	11	15	9	73	19	16	17	52	213
計	28	24	33	34	29	23	171	35	33	26	32	28	23	177	30	29	36	95	443

3 光明小学校から進学する中学校について

(1) 宝塚第一中学校

学年	CI	生徒数
1年生	4	144
2年生	4	154
3年生	4	144
計	12	442
特支	3	14
合計	15	456

(2) 高司中学校

学年	CI	生徒数
1年生	3	102
2年生	3	100
3年生	3	88
計	9	290
特支	5	33
合計	14	323

4 光明小学校における中学校区の変遷

①昭和50年(1975年)以前

宝塚第一中学校区

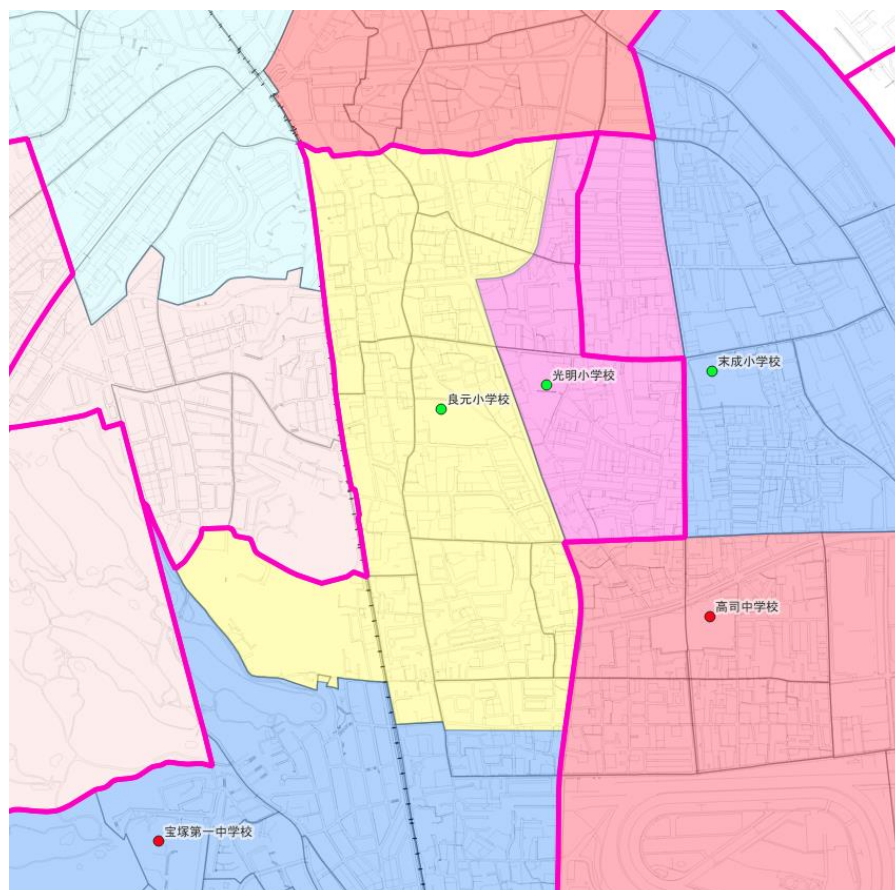
②昭和51年(1976年)

高司中学校開校に伴い、光明小学校区全域を高司中学校区に編入

③昭和63年(1988年)

光ガ丘中学校開校に伴い、福井町を除く光明町、小林3丁目8、9番、小林4丁目7番を宝塚第一中学校区に編入

5 光明小学校の校区図



※ 色で塗りつぶしているのは小学校区で、桃色の太線が中学校区を表しています。

6 光明小学校から進学する中学校の課題について

(1) 進学先の中学校が複数校であることの解消

- ① 小学校・中学校間のスムーズな連携の確保
- ② 友人関係が少ないことによる子どもたちの精神的負担の軽減

(2) 登下校に係る負担軽減と安心安全な通学路の確保

- ① 通学距離に係る負担軽減
- ② 夏季の高温化による熱中症対策
- ③ 交通量の多い幹線道路を避けた通学路の確保

7 光明小学校から進学する中学校について

光明小学校区全域を高司中学校区に編入するとともに、経過措置を設ける。

※ 経過措置について

光明小学校区（福井町、光明町、小林3丁目8・9番、小林4丁目7番）に居住し、

① 2012年4月2日～2025年4月1日に生まれた者であるとき

② ①のきょうだいであり、2025年4月2日～2027年4月1日に生まれた者であるとき
保護者からの申請に基づき宝塚第一中学校への「就学学校変更」を許可する。

(参考1) PTA 実施のアンケート調査結果について(令和5年11月頃に2回実施)

1 1回目のアンケート結果について

(1)実施目的:光明小学校の児童数は少ないのに、2校に別れて進学することに納得しているかを把握するため実施。

(2)回答者:162人中135人から回答。

(3)質問項目と回答割合

Q1:中学校区が分かれることに対しどう感じるか?

分けないでほしい 71.6% 現状維持 12.7% どちらでも良い 15.7%

Q2:どちらの中学校に通わせたいか?

宝塚第一中学校 26.1% 高司中学校 44.8% 選択制 29.1%

Q3:主な意見

- ① 宝塚第一中まで距離が遠く、事故や熱中症など、子どもの通学が心配。
- ② 校区を考えて家を買った(転居してきた)ので、宝塚第一中校区は変えないでほしい。
- ③ 通学距離のことを考えると、高司中がよいが、宝塚第一中を望む家庭もあるので、選択制が良いかもしれない。
- ④ 選択制になると兄弟が別々の学校に就学する可能性もあり、家庭の負担が増えるほか、家庭で進学する中学校を決めても友達の大半が別の中学校を選択すると、自分の子どもだけ違う学校を選択させるのは難しいので、選択制は反対。
- ⑤ 高司中の方が近いから高司中に通わせたい。
- ⑥ 児童数が少なく6年間同じクラスであるため、みんな同じ学校に通わせてあげたい。
- ⑦ 少人数にも関わらずさらに2校に分かれて進学することになるため、不登校になる子も多いと聞いている。一緒の中学校に進学できたらと思う。

2 2回目のアンケート結果について

(1)実施目的:前回の調査結果が漠然とした内容であったため、質問項目を詳細にして実施。

(2)回答者:161人中143人から回答。

(3)質問項目と回答割合

Q1:中学校区についてどれが良いか?

1つの中学校区 28% 選択制 58% この話題には触れない 13.3%

Q2:主な意見

- ① 高司中の方が近く、子ども達の登下校を見守ることができ、親もすぐに学校に駆け付けれることができるので、高司中を希望するが、宝塚第一中と校風が異なるので、選択制がよい。
- ② 校区を調べて家を購入したため、現状維持を希望。この話題には触れないでもらいたい。
- ③ 校区を選んで住宅を購入した保護者の意向も分かるが、学校に通うのは子どもであり、子どもの利益が最優先されるべきと思い、1つの中学校区を希望する。
- ④ 校区を一つにすることは賛成だが、校区を考えて引っ越してきた世帯もあることから、もう少し考える時間がほしい。
- ⑤ 1学年に1クラスの人数しかいない現状を鑑みると、子どもたちのためには中学校区は1つにした方がよいと思うが、家庭によって様々な事情があることを考えると、最終的に中学校区を1つにすることを周知した上で、しばらくは選択制とした方がよいと思う。
- ⑥ 何年間かは選択制にし、その後どちらか1校にするのはどうか。同じ学校に行かせたいという気持ちはあるので現状維持だけは反対。

(参考2)教育委員会事務局が行った保護者・地域住民等への意見聴取等について(令和6年度)

- | | |
|---------------|--------------------|
| 1 PTA、保護者 | 5/14、5/29、9/3、10/1 |
| 2 地域住民、未就学児世帯 | 6/15、9/1、9/25、10/6 |
| 3 小学校6年生の学校見学 | 6/26・27・28、7/1 |

4 意見聴取等で出た主な意見について

- ① 進学先を宝塚第一中と確認して、当該校区に引っ越してきた。
- ② 中学校区の変更は、小学校に児童が在籍している家庭だけの問題ではない。未就学世帯や地域に向けても、説明会をしてほしい。
- ③ 校区をを考えて引っ越ししてきたにも関わらず、経過措置(学校選択制)の期間に該当しなかった場合の応対・補償の方法を聞かせてもらいたい。
- ④ 来年度から校区変更となるのであれば、一番影響があるのは6年生である。6年生の子ども達に対するフォローはどう考えているのか。
- ⑤ 宝塚第一中と高司中の学力差や進学実績が分かるような資料を提示してほしい。
- ⑥ 中学校区が変わるという話をいきなり聞いて、すごく混乱している。もう少し1年以上の間を置いて、しっかりと説明していただけなかったのが残念に思う。
- ⑦ 高司中ではなく、宝塚第一中に取りまとめて進学することにしても良かったと思う。
- ⑧ 高司中は過去に色々問題があったので、高司中には進学させたくない。
- ⑨ 宝塚第一中と高司中の両方の保護者から話を聞くが、教師の良い話を聞くのは宝塚第一中で、悪い話を聞くのは高司中である。
- ⑩ 光明町だけでなく、福井町に住む子も、中学校を選択できるようにしてほしい。
- ⑪ 経過措置(学校選択制)はいつまでか。年内に生まれる予定の子どもも対象にしてほしい。